学校と教育

教育制度
義務教育
職業訓練 ・ 高等学校
総合大学 ・ 専門単科大学
学位の認証

教育制度

スイスでは常に何かを学び、それぞれの能力を伸ばし続けられます。特に大切なのが職業を学ぶ教育です。一つの教育を終えれば、その後も続けて教育を受けたり大学に進学したりできます。

仕組 ・ 管轄

スイスには上に積み重ねられていく３つの教育段階があります。

- 義務教育学校（Volksschule: Kindergarten, Primarschule und Sekundarstufe I）
  （Volksschule: Kindergarten, Primarschule und Sekundarstufe I）
- 職業基礎訓練または高等学校（Sekundarstufe II）（Sekundarstufe II）
- 専門単科大学/総合大学、高等職業教育（Tertiärstufe）（Tertiärstufe）

教育を管轄するのは公共体で、連邦、州、地方自治体が任務や責任を分担しています。そのため、学校や学校制度は州ごとに変わります。

就学の義務

Basel-Stadt州では１１年間の義務教育を受けます。つまり、子どもは１１年間学校に通わなくてはならないということです。通学は４歳から始まります。学校を休む場合は、学校に連絡を入れなくてはなりません。無断欠席させた場合、保護者が処罰を受けることもあります。１６歳以下でバーゼルに転入した子どもは義務教育を受けられます。それ以後に転入した青少年は、職業情報センター（Berufsinformationszentrum, BIZ）ー（Berufsinformationszentrum, BIZ）を訪ねましょう。ここでは職業や青少年が受けられる教育に関する情報を提供しています。

義務教育後の進路

青少年は義務教育を終えたあと、次の教育を受けます。職業基礎訓練（職業研修Berufslehre）を受ける生徒がたいへん多く、その後には高等職業教育（höhere Berufsbildung）（höhere Berufsbildung）に進むこともできます。職業研修中や終了後に職業系高等教育進学資格（Berufsmaturität）（Berufsmaturität）を取得すると、のちに専門単科大学（Fachhochschule）（Fachhochschule）へ進学できます。生徒の約２０％は高等学校（ギムナジウム）で大学入学資格（gymnasiale Maturität）（gymnasiale Maturität）を取得します。この資格があると、その後総合大学へ進学できます。

奨学金

経済的に余裕のない生徒には、高等学校へ進学したり職業教育を受けたりできるように、奨学金(Stipendien)が用意されています。義務教育終了後に受ける教育の資金を得るわけです。他国出身者でもBasel-Stadt州に住んでいれば奨学金を得られる可能性がありますが、出身国やスイスでの居住期間によって異なります。詳細は州の教育支援金局 (Amt für Ausbildungsbeiträge) へお問い合わせください。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/school-and-education/education-system

義務教育

義務教育では基礎教育を受けます。その後、続いて次の教育を受けることができます。公立学校は無料です。

入学申込

公立学校を経営しているのは地方自治体や州です。
入学の申し込みはこちらで行ってください。
幼稚園や小学校の申し込み：

- Basel-Stadtの子ども（Basel-Stadt：Basel-Stadt学校
- Riehenの子ども（Riehen：Riehen自治体学校
- Bettingenの子ども（Bettingen：Bettingen自治体学校

中学校の申し込み：

- Basel-Stadt学校

義務教育のしくみ

義務教育は 3 段階に分かれています。これらは上へと積み重ねられています。

- 幼稚園（Kindergarten）（Kindergarten）2 年
- 小学校（Primarschule）（Primarschule）6 年。子どもに特別なサポートが必要、もしくは子どもに特別な能力がありますか？その場合は、適切なサポートを受けられます。
- 高学年（Sekundarstufe I）（Sekundarstufe I）3 年。高学年には 3 種類の学校があり（A（Aコース（E、Eコース（P、Pコース）、それぞれ難易度が異なります。
- 子どもの母語はドイツ語ではありませんか？その場合は、全学年で特別なサポートを受けられます。

母国の言語と文化を用いて行う授業 (HSK)

義務教育のほかに、子どもは継承語と継承文化授業（Heimatliche Sprache und Kultur, HSK）（Heimatliche Sprache und Kultur, HSK）に参加することもできます。そこでは出身国の言語で学びます。そうすることで、言語の理解力や会話力、読み書きの力を高められます。また出身国の歴史、地理、祝祭、伝統についても学びます。このコースの受講は推奨されています。これは任意であり、ほとんどが有料です。

公立・私立学校

公立学校の授業料は無料です。男女共学で、授業は宗教的に中立です。ほとんどの児童や青少年（９５％）は義務教育を公立学校で受けますが、私立学校もあります。子どもを私立学校へ通わせたい場合は、授業料は自己負担となります。

親の権利と義務

学校は、子どもが学校で行っていることや学校での成績を保護者に伝えなければなりません。それは保護者と教師の間の面談で行われます。そのほかにも教師がクラスの保護者全員に説明を行う保護者説明会もあります。また、学校に関する説明を行う催しもあります。子どもが通学している場合、保護者はこれらの面談や催しに出席しなくてはなりません。また、子どもをきちんと学校へ通わせる義務も負っています。
病気などで子どもが学校に行けない場合もあるでしょう。そのときは、学校に連絡してください。また、子どもには宿題もきちんとさせなければなりません。そのときにはサポートをしてあげましょう。例えば、学校で何をしているのかなど、聞いてあげるのもよいでしょう。そして、定期的にどんな宿題をやっているのか見てみましょう。こうして自分が関心を持っていることを示してあげるのです。
スイスの教育制度に馴染みがない場合は、説明会に行ってみましょう。スイスに住み始めた人向けの特別な説明会もあります。そのような説明会はよくドイツ語以外の言語でも行われます。

質問・サポート

学校に関する質問があるときはまずクラス担任と話してください。クラス担任は保護者がサポートを必要としているときにも相談にのってくれます。子どもが何かを必要としているとクラス担任が感じることがあるかもしれません。あるいは子どもに関する質問があるかもしれません。そんなとき、クラス担任はまず親と話します。親とクラス担任が密に連絡を取り、協力し合うことは大切なことです。
子どもが精神的または社会的な問題を抱えているかもしれません。そんなときは、スクールカウンセリングサービス（Schulpsychologischer Dienst）（Schulpsychologischer Dienst）が親と子どものサポートをしてくれます。このサポートは無料です。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/school-and-education/compulsory-education

職業訓練 ・ 高等学校

義務教育終了後、ほとんどの生徒が職業教育を行います。大学に進学したい場合は大学入学資格（マトゥーラ）が必要です。これは高等学校で得られます。また、職業教育中に取得することもできます。

教育の重要性

しっかりした教育や職業はスイスではとても大切です。学校で良い成績を収めれば、後に良い仕事を得るチャンスが増します。義務教育後、社会生活の準備を行う方法はいろいろあります（Sekundarstufe II）（Sekundarstufe II）。さらに教育を受ければ、良い就職口も見つかりやすくなります。
教育や継続教育について質問がありますか？ 職業・修業・進路相談（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）では生徒や保護者の相談に応じています。相談は無料です。

職業基礎訓練

義務教育を終えた後は、ほとんどの生徒が職業基礎訓練を行います（職業研修（Berufslehre）＝Berufslehre）。職業研修では会社で仕事をします。そこでその職業に必要となる実践的なスキルを習得します。平行して職業訓練学校にも通います。研修を受けられる職種は250以上あり、研修期間は 2 年から 4 年です。義務教育の最後の 2 年間に自分で研修先の会社を探します。学校からも支援が得られますが、保護者の協力も欠かせません。職業・修業・進路相談（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）も生徒にさまざまな情報を提供し、無料で相談に応じています。職業研修中や修了後には職業系高等教育進学資格（Berufsmaturität）（Berufsmaturität）も取得できます。この資格があれば、専門単科大学に進学できます。

高等学校

高等学校（Mittelschulen）（Mittelschulen）では、総合大学や専門単科大学（Fachhochschulen）（Fachhochschulen）進学の準備を行い、幅広く一般教養を学びます。高等学校にはさまざまな種類があります。

- ギムナジウムの大学入学資格（gymnasiale Maturität）（gymnasiale Maturität）を取得できる高等学校：その後総合大学に進学できますが、専門単科大学で学ぶこともできます。
- 専門大学入学資格もしくは職業系高等教育進学資格を取得できる高等学校：その後専門単科大学に進学できます。総合大学に進みたい場合は、試験に合格しなければなりません。場合によっては、別の要求が課されることもあります。

橋渡しプログラム

義務教育終了後、１８歳～２５歳でBasel-Stadt州に転入しましたか？では、橋渡しプログラム（Brückenangebote, ZBA）（Brückenangebote, ZBA）センターのプログラムに参加してはいかがでしょう。これは社会人として順調なスタートを切るためのプログラムです。橋渡しプログラムは、インターンシップや職業研修受入先探しをサポートします。関心がありますか？その場合は、橋渡しプログラムセンター（Zentrum für Brückenangebote）（Zentrum für Brückenangebote）にお申し込みください。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/school-and-education/vocational-education-and-training--middle-school

総合大学 ・ 専門単科大学

スイスの高等教育機関には、総合大学と専門単科大学の 2 種類があります。スイス国外の高等学校卒業資格保持者は、各大学に直接お問い合わせ下さい。

高等教育制度

スイスの高等教育機関は、総合大学と専門単科大学Fachhochschulen（Fachhochschulen）に分けられます。専門単科大学では実用により重点を置き、総合大学では理論に重点を置いた授業が行われます。両者とも同等であり、欧州ボローニャシステムに基づいてカリキュラムが組まれています。修了すると欧州全域で公認の学士号 (Bachelor) および修士号Master) （Master) を取得できます。

入学許可

大学によって入学要項が異なります。スイスの大学入学許可を取得した場合は、どの高等教育機関にも進学が可能です。外国の高等学校卒業資格は認められない場合があります。入学要項については、進学を希望する各高等教育機関（総合大学/専門単科大学）に直接お問い合わせください。すべての課程が英語で行われる場合を除いて、大学での就学には通常、高度なドイツ語能力が求められます。職業・修業・進路相談Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）では高等教育機関に関する情報を無料で提供しています。

高等職業訓練

スイスでは、大学と並んで高等職業教育höhere Berufsbildung（höhere Berufsbildung）も継続教育の場として人気の的です。ここでは、一つの職業の専門家が分野をさらに特化したり専門知識を深めたり、指導的課題を引き受けたりできるようにします。高等職業教育は基礎教育（職業研修＝Berufslehre）からそのまま進みます。大学入学資格は必要ありません。職業・修業・進路相談Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）が種々の可能性について無料で相談に応じます。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/school-and-education/universities--universities-of-applied-sciences

学位の認証

外国で取得した学位や資格がスイスで認められない場合があります。特定の条件をみたすと、学位が認証されます。職種によっては学位は必須です。

認証

外国で取得した学位および資格を持つ人は、特定の条件下において、それをスイスでも認めてもらうことができます。その承認は、外国の学位や資格がスイスのものと同格であることを認めるものです。国家資格の必要な職業（看護職、教員など）の場合、その職務につくためには学位の認証が必要です。認証の管轄は職業や教育によって異なり、認証には費用がかかります。詳細は、国が管轄する学位の認証に関する連絡窓口Nationale Kontaktstelle für Diplomanerkennung（Nationale Kontaktstelle für Diplomanerkennung）または職業・修業・進路相談Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）へお問い合わせください。

レベル証明書

国家資格がない職種に就く場合は、スイスでは学位や資格の認証は必要なく、レベル証明書Niveaubestätigung（Niveaubestätigung）を申請できます。レベル証明証は外国で受けた学位がスイスの教育制度のどのレベルに相当するのかを示すもので、就職活動に役立つことがあります。レベル証明証の詳細は国が管轄する学位認定に関する連絡窓口Nationale Kontaktstelle für Diplomanerkennung（Nationale Kontaktstelle für Diplomanerkennung）、または職業・修業・進路相談Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）へお問い合わせください。

社会人のための職業訓練

公認の学位または資格を取得せずに就職し経験を積んだ社会人にも、のちに職業基礎訓練や高等職業教育を受け、資格を得るチャンスがあります。そのプロセスは、学歴、職歴、年齢によって変わります。いずれにせよ、高いドイツ語能力（GER基準でレベルB1およびB2）は必須です。職業・修業・進路相談Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung（Berufs-, Studien- und Laufbahnberatung）では無料で情報を提供し、相談に応じています。職業教育を終えて資格を取得すると、よりよい職場に巡り会えるチャンスが増え、また更なるスキルアップへの布石となります。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/school-and-education/recognition-of-qualifications